

# 相鉄瓦版

第260号

2019.6

Sotetsu  
Kawaraban

特集

## 相鉄線とともに

小松成美



内館牧子

特別対談

# 相鉄瓦版

特集 | 相鉄線とともに 内館牧子 小松成美 特別対談

- 3 相鉄線沿線 私的メモリー
- 18 相鉄線沿線の「いま」を訪ねて
- 25 相鉄線沿線の「これから」を見据えて

## 連載

- 36 小松成美のカラフル通信
- 38 相鉄沿線  
名店プロジェクト
- 40 そうてつ  
インフォメーション
  - ニュース
  - 相直をめぐる物語
- 46 相鉄線沿線  
少年少女 熱血スポーツ
- 48 ぶらり寄り道!
  - 心華やぐイタリアン
  - 相鉄線沿線お出掛けスポットめぐり
- 52 こども自然公園  
いきもの便り
- 53 沿線トピックス
  - ズーラシア
  - イベント
- 55 ヨコハマやさしいレシピ

●次号(7月1日発行予定)は  
「相鉄線沿線の果物」について特集します。

本誌で掲載された情報は一部を除き2019年5月13日現在のもので、情報内容に変更される場合がございますので、ご了承ください。本誌に記載の価格は消費税込みです。ただし、一部この限りではありません。

個人情報の取り扱いについて

①お客様の個人情報は、抽選および賞品発送、相鉄瓦版の制作に関する使用目的以外に使用することはありません。②お客様の個人情報は厳正に管理し、個人情報保護法に定める個人情報取扱事業者として適正に取り扱います。③お客様の個人情報の取り扱いについては下記URLをご参照ください。  
[https://www.sotetsu.co.jp/personal\\_data/group\\_policy.html](https://www.sotetsu.co.jp/personal_data/group_policy.html)



# 相鉄線沿線 私的メモリー



特集  
相鉄線とともに  
内館牧子×小松成美

特別対談

今号は、相鉄線沿線と縁の深い内館牧子さんと小松成美さんによる特別対談をお送りします。始めに、20歳のときに旭区白根に引っ越して来た内館さんと、相鉄線沿線で生まれ育った小松さんに、相鉄線にまつわる思い出や往事の風景などについて語っていただきました。

## のどかな昔日の景色

小松 初めて内館さんにお会いしたのは3年前です。テレビ朝日の放送番組審議会でご一緒することになり、私が「横浜の西谷から参りました」とごあいさ

### Profile



うちだてまきこ●秋田県生まれ。大学卒業後、13年間の会社勤務を経て、1988年に脚本家デビュー。2006年、東北大学大学院文学研究科修了。主な作品に、ドラマ『都合のいい女』（フジテレビ）、『ひらり』『私の青空』（NHK朝の連続テレビ小説）、『毛利元就』（NHK大河ドラマ）、『週末婚』（TBS）など。小説では『義務と演技』（幻冬舎）、『転がしお銀』

（文藝春秋）、『終わった人』（講談社文庫）、『すぐ死ぬんだから』（講談社）。その他『あなたはオバサンと呼ばれてる』（講談社）、『牧子、還暦過ぎてチューボーに入る』（主婦の友社）、『女の不法』『男の不法』（ともに幻冬舎）他、話題作多数。相撰に造詣が深く、女性初の横綱審議委員を2000年から10年間務めた。橋田寿賀子賞、文化庁芸術作品賞、日本作詩大賞、放送文化基金賞など受賞多数。



ついたら、内館さんが「西谷！」とすごく驚かれて。

**内館** 相鉄線が都心に乗り入れるという新聞記事を目にしたばかりで、その中で西谷駅についても触れられています。白根に住んでいたところのかかりつけのお医者さんが西谷にあったので、「懐かしい地名だな」と思っていたんです。そうしたら、その西谷から小松さんがやって来られたから。

**小松** 内館さんは、秋田県のご出身ですよね。

**内館** 秋田は3歳までで、父の転勤で4歳から新潟、小学校3年生からは東

## Profile



こまつなるみ●神奈川県横浜市生まれ。広告代理店、放送局勤務などを経た後、1989年、作家に転身。真摯な取材、磨き抜かれた文章には定評があり、数多くの人物ルポルタージュ、スポーツノンフィクション、インタビュー、エッセイ、コラム、小説を執筆。主な作品に『アストリット・キルヒヘア ビートルズが愛した女』『中田語録』『中田英寿 鼓動』『中

田英寿 誇り』『イチロー・オン・イチロー』『和を継ぐものたち』『勤三郎、荒ぶる』『YOSHIKI/佳樹』『なぜあの時あきらめなかったのか』『横綱白鵬 試練の山を越えてはるかなる頂へ』『全身女優 私たちの森光子』『仁左衛門恋し』『熱狂宣言』『五郎丸日記』『それってキセキ GReeeeN の物語』『虹色のチョーク』などがある。本誌にて「小松成美のカラフル通信」を連載中(36～37ページ)。

## 虹色のチョーク



働く幸せを実現した町工場の奇跡

Small text above the name  
小松成美

京の大田区に移りました。父は庭仕事が好きだったけれど、東京での住まいは集合住宅でした。それで、私が20歳のとき、1968年に白根に庭のある家を建てたんです。庭仕事の得意な人を「緑の指」を持つ人というでしょう。父がまさにそうで、庭でビワからフキノトウまでさまざまなものを育てていました。そういえば、弟が2階のベランダでモモを食べていて、庭に向かって種を吹き出したんです。しばらくしたら庭にモモの木が生えて、数年後には見事な実がなる



西谷駅（1966年に橋上駅舎化される前）

ようになりました。毎年100個以上も実がなって、ご近所にお配りしていたんです。小松さんは、ずっと西谷ですか。

**小松** 生まれたのは天王町の産院ですが、自宅はずっと西谷です。私の記憶にある西谷駅は橋上駅舎になっていましたが、以前はこんな雰囲気（6ページ写真）だったそうです。内館さんは白根だから、最寄り駅は鶴ヶ峰駅ですか。

**内館** 家族で越して来たときにはもう、鶴ヶ峰駅も橋上駅舎でしたね。私は子どものころから相撲が



鶴ヶ峰駅（1962年に橋上駅舎化、写真は1978年ごろ）

好きで、1981年に千代の富士の横綱昇進が決まったときには、鶴ヶ峰駅の売店へスポーツ新聞を買いに行きました。そのときに、駅の階段を駆け上がった記憶があります。ただ、当時はまだ鶴ヶ峰駅の辺りも、とてもどかでしたね。

**小松** 私が幼かった1960年代は、西谷周辺も本当にのどかな風景が広がっていました。近所の田畑で昆虫を追い掛けたり植物を観察したりして、毎日泥だらけになって遊び回っていました。一方で、私は読書も好きでした。初めて自分



1960年代の西谷駅周辺



で本を買ったのは7歳のときです。  
横浜駅西口の地下街にある有隣堂  
で「不思議の国のアリス」を買い  
求めたことをよく覚えています。

**内館** 私もあそこの有隣堂はよく  
利用していたから、どこかですれ  
違っていたかもしれないわね。相  
鉄線の横浜駅の改札口のそばに、  
牛乳スタンドがありましたよね。

**小松** 通勤通学のラッシュ時間に  
は、大勢の人が並んでいましたね。  
電車の混雑も、今よりもすごかつ  
たように思います。私は満員電車  
の中でも本を読んでいて、サラリー



相鉄線横浜駅の「牛乳スタンド」(1965年ごろ)

マンの方に「こんな状況で何やってんだ！」と何度か叱られました。

**内館** 私は東京の小平市にある武蔵野美術大学まで、鶴ヶ峰駅から片道2時間ほどかけて通っていました。本当に気が遠くなるほど通学が大変で。だから、相鉄線で乗り換えなしで新宿まで行けるようになるという新聞記事を目にして、なんて便利な時代になったのかって思ったんです。

## 仕事への不満と気晴らしのお稽古事

**内館** 大学生のころ、和田町にある国際製缶の工場でアルバイトをしたことがあります。高校時代から仲の良かった友人と一緒に缶を組み立てました。大学卒業後は三菱重工に就職し、横浜造船所に勤めました。今のみなとみらに あった会社まで、平沼橋駅から歩いて通ったんです。当時、横浜造船所には7千人ぐらい勤めていて、相鉄線沿線に住んでいる人もたくさんいました。だから、平沼橋駅と会社との間で、見知った人に会うことも多かったですね。

**小松** どちらの部署にいらしたんですか。

**内館** 社内報の編集です。ドックで行われる進水式のレポートを書いたり、会社が手掛けている橋や焼却場などについてエンジニアが書いた原稿をリライトしたり。入社して2、3年はしおらしく働いていたけれど、一通りの仕事を覚えてからは退屈を感じるようになって。それで、気を紛らわせるように、いろいろなお稽古事を始めました。

着物の着付けを習ったのは弥生台です。まだいずみ野線が開業する前で、周りに何も無い中にぽつんと立派なお屋敷があって、そこ



住宅地の開発が進む前の弥生台駅周辺（写真中央が弥生台駅）

が先生の家。着付けに必要な道具を車に積んで、白根から通っていました。それと、和田町で洋裁を何年か習って、自分でコートを縫えるまでになりました。天王町にあったテニススクールにも通っていましたね。

当時は男女が同等に働くなんて考えられない時代でしょう。もっとやりがいのある仕事がしたいと思って異動願いを出しても受け入れられませんでした。一度、「お茶くみも大事な仕事だよ」と注意されて、「そんなに大事なら課長がやったらいかがですか」っていい返したことがあります。そんなだから会社の仕事では満たされず、その分、お稽古事に精が出たんです。鼻っ柱が強かったけれど、それでも「このままでいいのかな」ってしょっちゅう思っていました。

**小松** 私は専門学校を卒業後、20歳で広告代理店に就職しました。1980年代でバブル経済に向かっていく華やかな時代でしたが、女性が仕事でやりがいを得ることは難しいと感じることがたくさんありました。結局、その広告代理店を3年で辞め、次に放送局に契約社員で入ります。その後、周囲か

ら正社員になることも薦められましたが、それが本当に自分の進みたい道なのかと考えると答えが出ず。ただ、そうこうしているうちに、ストレスからメニエール病になってしまいました。会社を辞めて自宅療養することになり、自分の人生を真剣に考えました。たった一度きりなのだから悔いのないように大好きなことを職業にしたいって。それで、子どものころから好きだった本を書く仕事をしようと決心したんです。ある日、作家になると宣言して。

**内館** そんな大変な状況で、よく書こうと思えたわね。

**小松** 原稿を書く難しさを全く知らなかったので、決断できたんでしょうね。  
**内館** 私はたまたま新聞でシナリオ教室の広告を目にしたことが、脚本家の道に進む最初のきっかけです。会社帰りにその教室に通って、あるシナリオコンクールで佳作を取って。でも、すぐに脚本の仕事がくるわけもなく、相変わらず満たされない会社に腰掛けていました。

**小松** 私は「原稿を書きたい」と思い立ってすぐに、先輩の紹介でスポーツグラフィック誌の「**Number**」で連載の機会を得ました。もともと、それ

までほとんど原稿を書いたことはなく、何度書いても編集から書き直しを命じられたり、原稿を突き返されたこともありました。けれど、文章を書くことは自分が求めていた生き方、仕事だと思え、胸には喜びがありました。

## 相鉄線沿線で過ごした時代への思い

**小松** 内館さんは何歳まで白根にお住まいだったんですか。

**内館** 30歳までですね。3つ下の弟と私がいつまでも実家でだらだらしていることに業を煮やした母が「自立しなさい」って怒って。それで、いずみ野のグリーンハイムが分譲されたとき、母が勝手に弟の名前で応募したんです。

**小松** 新規分譲で、倍率も高かったでしょう。

**内館** 母も当選するとは思っていませんでした。「おめでとうございます」って連絡を受けて慌てていました。ともかく、そこからいずみ野で弟との二人暮らしが始まったんです。もつとも、弟は2年後に香港に転勤になりました。その直前に弟は結婚したんですが、どういう経緯でそうなったのか忘れたけ

れど、弟のお嫁さんと私とで数カ月、グリーンハイムで不思議な二人暮らしをしていたこともありま  
す。その後、お嫁さんは弟のいる  
香港に行きました。

**小松** いずみ野での暮らしはいかがでしたか。

**内館** 私は31歳のときにグリーンハイムに入居して、35歳のときに会社を辞めたんです。脚本の仕事なんてほとんどなく、たまに急病の脚本家の代筆を頼まれたり、知り合いの紹介で雑誌に書く仕事がポツンポツンと来るぐらい。ドラ



マの「中学生日記」(NHK)の脚本も書きましたね。グリーンハイムのリビングが12畳ぐらいあって、その一角に机を置いて執筆していました。でも、時間はたっぷりあったから、よくスポーツを楽しんでいました。家から車で5分ほどの所にあるゴルフ練習場に行ったり。あと、南万騎が原駅前にあったYMC A南万騎が原校の会員になって、プールにも通いましたね。

脚本家としての正式なデビューは「バラ」(日本テレビ系列)というドラマで、40歳のときでした。とはいっても、他に仕事はありません。そういった状況のときに、たまたま白根に越す前に住んでいた大田区の家近くに良いマンションを見つけたんです。それで、後先考えずにそのマンションを買い、相鉄線沿線から離れることになりました。

**小松** 私ライターの仕事を始めればらくすると、野茂英雄さんや中田英寿さん、イチローさんなどトップアスリートを取材する機会を得ました。その後はジャンルを超え、興味ある主題に向き合い、いろいろな方々の本を書くことになりましたが、今に至るまで地元の西谷で原稿を書いています。自



分が生まれ育った街へのひとかたならぬ思いもあり、事務所のある都内への引越しは考えませんでした。今年11月に相鉄線が都心に乗り入れることに伴って西谷駅も生まれ変わります。暮らしやすさや利便性がさらに向上するだろうと大いに期待しています。そして、私も地元の人間の一人として、西谷や相鉄の文化、環境を担いたいと気持ちを新たにしているところです。

内館さんは、20年間過ごされた相鉄線沿線への思いはいかがですか。

**内館** 大学への通学は大変だったし、会社に勤めていた13年間はずっと満たされなかった。30代半ばで退職しましたが、脚本の仕事なんてありませんから、30代後半の5年間は親掛かりでした。だから、客観的に見ると、つらい時期を相鉄線沿線で過ごしたといえるのかもしれませんが、でも、私自身にそういういった感覚はなく、会食から習い事まで楽しく過ごしていました。やっぱり、環境が大きかったんじゃないかしら。白根もいずみ野もとてもどかな雰囲気、だから私は穏やかに伸び伸びと暮らせたんでしょうね。こうして振り返ってみて、相鉄線沿線で過ごした20年間は宝だなと改めて思います。

# 相鉄線沿線の「いま」を訪ねて

特集

相鉄線とともに  
内館牧子×小松成美

特別対談

## 横浜駅



Yokohama

約30年ぶりに相鉄線沿線にやって来たという内館牧子さんを、今も沿線にお住まいの小松成美さんがご案内する今回の特別企画。内館さんに現在の相鉄線沿線の姿を知っていただくため、まずは横浜駅からヨコハマネイビーブルーの車両に乗車します。すると、横浜駅の改札横にあった牛乳スタンドや、かつて相鉄線を走っていた薄緑色の車両のことなど、早速お二人の思い出話に花が咲きます。

# 西谷駅



Nishiyama



最初に訪れたのは、西谷駅。駅の周辺では、今年11月30日に開業する相鉄・JR直通線や2022年度下期開業予定の相鉄・東急直通線のための工事が進められています。西谷で生まれ育った小松さんは、相鉄線の都心への直通運転に大いに期待を寄せています。一方、内館さんは「ここから乗り換えなしで渋谷や新宿方面に行けるなんて、私が住んでいたころには考えられなかったこと」と感嘆していました。

## 二俣川駅



F u t a m a t a g a w a

次に降り立ったのは、二俣川駅。2018年に改良工事を終えた改札口周辺や、昨年オープンしたジョイナステラス二俣川を目にし、「昔の面影が全くないわね」と驚く内館さん。ところが、駅の北側を走る道が厚木街道だと分かると、「あ、その先に跨線橋きせんきょうがあるでしょ。相鉄線沿線に住んでいたとき、大雪の日にその跨線橋でスリッパして大変な思いをして」と往事の記憶を思い起こされます。

## 南万騎が原駅



続いて、お二人が訪れたのは南万騎が原駅。まずは、地域コミュニティの活性化のための活動拠点である「みなまきラボ」にて、南万騎が原や相鉄線沿線で行われている多様な活動について説明を受けます。小松さんは「地域の方々が主体となつてワークショップやイベントが行われているんですね。そうしたことも、相鉄線沿線の魅力を底上げする大きな原動力になると思います」と語ります。



その後、サービス付き高齢者向け住宅「グランドマストみなまきみらい」を見学。そのサービス内容などを聞き、内館さんは「明るくて広くてホテルみたい。駅も近いし、緑は豊かだし」と感想を述べます。さらに、横浜市認可保育所「グローバルキッズ南万騎が原園」を見学。幅広い世代にとって、住み心地の良い街づくりが進む南万騎が原駅周辺に感心しきりです。

## 弥生台駅



Yayoidai

この特別企画のゴールは弥生台駅。内館さんと小松さんは、フレンチレストラン「ペタルドゥサクラ」へ向かいます。まずは、見ごろを迎えていた弥生台駅のホーム脇のソメイヨシノを堪能。続いて、オーナーシェフの難波秀行さんから同店で使用している地元産食材について説明を受けます。そして、絶品フレンチに舌鼓を打ちながら、相鉄線沿線の過去、現在、未来についての語り合いが続きます。



相鉄線沿線の  
「これから」を見据えて

特集

相鉄線とともに  
内館牧子×小松成美

特別対談

横浜駅から電車に乗って西谷駅、二俣川駅、南万騎が原駅を巡り、弥生台駅へとやって来た内館牧子さんと小松成美さん。フレンチレストラン「ペタル ドウ サクラ」で、お二人に今日一日の感想や今後の相鉄線に期待することなどについて語っていただきました。

## 沿線ならではの魅力

**内館** 私は相鉄線沿線を離れて30年以上になるから、相鉄の印象が止まったままだったんです。電車でいえば、薄緑色の4両編成が走っているイメージ。だから、横浜駅でシックな色の電車を目にしてビックリして。

**小松** ヨコハマネイビーブルーの電車が、都心に



かつて相鉄線を走っていた薄緑色の車両  
(写真は6000系)

乗り入れるんです。

**内館** それに、こんなおしゃれなレストランが弥生台にあることに驚いています。私は駅ができる前の弥生台を知っているので、なおさらですよ。帰ったら母に今日見聞きしたことを話しますが、信じてもらえないでしょうね。私が住んでいた時代には似つかわしくなかつたけれど、今の相鉄には「洗練」という言葉がぴったりだなと感じました。

**小松** 沿線住民の一人として、その言葉をとてもうれしく思います。

**内館** 私が住んでいたところと比べて、格段に街が明るくきれいになっていると感じました。いろいろと見て回って、これは住み良いだろうな、便



相鉄・JR直通線用車両の12000系

利だろうなと思うことがたくさんあって。買い物なら二俣川のジョイナスステラスで事足りるから、わざわざ遠くまで出掛ける必要もないでしょうし。

**小松** 小さなお子さんのいる若い夫婦をはじめ、高校や大学に通う若者、働き盛りの人たち、それに高齢者の方々と、幅広い世代が豊かに暮らせる環境が相鉄線沿線には整っていますよね。

**内館** 横浜は「住みたい街」としてよく名前が挙がるでしょう。でも、あまり横浜に縁がなく、淡い憧れを抱いている人が口にするのは、山手や元町などの街であり、あとは横浜中華街や港の見える丘公園といった「ハマ」の匂いがするところ。そうした人にこそ、住むなら相鉄線沿線がいいですよって声を大にして伝えなきゃって思いました。これだけ洗練された街があって、それでいて緑も豊かで、本当に申し分ないでしょう。港の空気に触れたいなら、この弥生台からだってすぐ行けるわけですから。

**小松** 沿線ならではの魅力ですね。しかも、そうした環境の素晴らしさに、これからは都心へのアクセスの良さが加わりますから。

## 元からある街の資源の意義

**内館** 私は街づくりの専門家ではないけれど、どこを変えて、何を残すかって大事なことだなと思っていろいろなんです。例えば大相撲でも、時代にそぐわなかったりグローバルスタンダードに合わなかったりすることがたくさんあります。それで「今の時代にこれはおかしいから変えろ」などといい出す人がいる。もちろん、変革すべきことは新しくして構わないけれど、何でもかんでもそうしていいわけではありません。

大相撲でいえば神事に関することはしっかり守るべきだと、私は思っています。

**小松** 街づくりでも、通り一遍に全てを新しくするという発想は危ういですね。

**内館** それでいうと、今日、相鉄線沿



線を巡ってみて「ここは変わってないな」って思える場所が幾つもあった安心しました。

**小松** 昔から変わらない通りや建物があると、それだけでホッとしますよね。内館さんも「この道で大雪の日に大変な目に遭った」とか「この先にあのお店があるわよね」と、相鉄線沿線の思い出があふれ出ていましたね。

**内館** 古くからのものは、思い出のよすがになりますからね。だけど、こうしたことをノスタルジーでいっているわけではありません。私は以前、東日本大震災復興構想会議の委員を務めたことがあります。その会議で、都市計画家の西郷真理子さんがおっしゃったことがとても印象に残っているんです。彼女は「東北に街を再建するに当たって忘れてはならないのは、新しいものを持つてくるよりも、地元の潜在能力を生かすことです」と発言したんです。元からある資源を生かしましょう、ってことですね。この考えは東北の被災地に限らず、全国の街づくりにも当てはまることだと感じました。

**小松** 相鉄線沿線の誇るべき産業の一つが、農業だと思います。私の地元の

西谷には13代続く農家を継いでいる<sup>かるべ</sup>苜部博之さんという方がいて、オリジナル品種のダイコンなどを生み出しています。苜部さんだけでなく若い農家の方も多いですし、さまざまな野菜をはじめ、肉や卵、牛乳なども相鉄線沿線です。つくられています。このレストランで使われている食材は地元産が90パーセントを超えています。内館さんがお住まいだったところと比べると住宅が増えましたが、まだまだ農業もしっかり営まれています。



**内館** 地元の食材が手軽に味わえるというのは大きな魅力ですよ。農業もそうですし、古くから伝わる歴史や文化といったものは、街の根本こんぽんといえるものでしょう。車両や駅舎が新しくなったり、街並みがきれいになったりすることは、そこに暮らしている人にとって喜ばしいことですよね。だけど、街の根本はいつまでも語り継ぎ、伝え

てほしいなと思っっているんです。

## より洗練された沿線であるために

小松 内館さんは「終わった人」で定年退職した63歳の男性を、「すぐ死ぬんだから」では78歳の女性を主人公に据えて小説を書かれました。いずれも大ヒットしていますが、どういったところから着想されたんですか。

内館 「終わった人」の原点は三菱重工に勤めていた時代です。社内報の編集者として、定年退職を迎える人を毎年何十人もインタビューしました。第二の人生について尋ねると、「妻と温泉に行く」「花を育てる」なんて答えが多かったんです。当時はそういうものかと思っただけで、自分が40代になったときに「あのときの答えは見えなかったのかも」とふと思っただけです。年齢で区切って「もうおしまい」っていわれても簡単に気持ちを切り替えられないし、仕事で得られる刺激に取って代わるものもそうあるわけでもない。そうしたことを考えていて、「終わった人」ってタイトルが思い浮かんだんです。



**小松** 「終わった人」を拝読し、それから館ひろしさん主演の映画も鑑賞して、これはタイトルに反して「終わっていない人」の物語だと感じました。

**内館** そう、全然終わっていない。だって、人生100年といわれる時代に、60代なんてまだまだこれからじゃないですか。

**小松** 78歳の女性を描いた「すぐ死ぬんだから」にもいえることですね。

**内館** 前から不思議だったんです。70代、80代の人が集まる会合に行くと、おしゃれな人がいる一方で、髪にも肌にも服にも気を使わない人がいる。すると、身の回りに構わない人は「すぐ死ぬんだから」って言い訳をするんです。その言葉を免罪符にして、おしゃれを怠っているんです。

**小松** 言い訳ありきで歩みを止めてしまうと、自分のことをおろそかにしてしまいがちです。年齢を重ねるほど、自分らしいおしゃれが大切になりますね。**内館** 外見より中身って声をよく聞くけれど、あまりにも身の回りに構わないのは良くないでしょう。きれいであろうとすることは、中身の一つだと思えます。実際、私が見る限りでは、おしゃれな人ほど活発で社交的ですから。


**小松** 内館さんはいつもおしゃれで、何より好奇心旺盛ですよね。

**内館** 好奇心ってことでいうと、「学び」っていうのは大きなポイントですね。私は相撲の歴史を学ぶために50歳を過ぎて3年間、東北大学の大学院に通いました。学ぶことも大学に通うことも、非日常でしょう。そういう機会があると、自然と身の回りのことにも気を配るんです。相鉄線沿線に大学は……。

**小松** 横浜国立大学とフェリス女学院大学があります。

**内館** 横浜国立大学の近くに新しい駅もできるんでしょう。

**小松** 相鉄・JR直通線の開業で、新しい駅が誕生します。先日、横浜国立大学の留学生と交流する機会があったのですが、アジアなどからの多くの留学生が一生懸命に学んでいる姿を目にしました。今年はラグビーのワールド



カップが、来年には東京オリンピック・パラリンピックがあり、多くの外国人が日本を訪れます。外国の方々と接することもまた、



新たな学びのきっかけにつなが  
ると思います。何かを学ぶのに  
年齢は関係ないですし、幾つに  
なっても新しいことに挑戦する  
姿勢は大事なことですよね。

**内館** 今日いろいろと巡ってみ  
て、相鉄線沿線の素晴らしさを  
十分に実感しました。この環境  
に学びの要素が加わると、より  
洗練された街になるように思っ  
ました。

**小松** 今日は本当に有意義な時  
間を過ごすことができました。  
ありがとうございます。

イチロー選手の  
「理想の取材」

こまつなるみ ● 神奈川県横浜市生まれ。放送局勤務などを経た後、1989年、作家に転身。真摯な取材、磨き抜かれた文章には定評があり、数多くの人物ルポルタージュ、スポーツノンフィクション、インタビュー、エッセイ、コラム、小説を執筆。主な作品に『アストリット・キルヒヘア ビートルズが愛した女』『中田語録』『中田英寿 鼓動』『中田英寿 誇り』『イチロー・オン・イチロー』『和を継ぐものたち』『勘三郎、荒ぶる』『YOSHIKI/佳樹』『なぜあの時あきらめなかったのか』『横綱白鵬 試練の山を越えてはるかなる頂へ』『全身女優 私たちの森光子』『仁左衛門恋し』『熱狂宣言』『五郎丸日記』『それってキセキ GReeeeN の物語』『虹色のチョコレート』などがある。

<https://narumi-komatsu.themedia.jp/>

2019年3月にユニフォームを脱いだイチロー選手。今シーズンのMLBのゲームをテレビ観戦しながら、その寂しさはさらに高かさんでいます。マリナーズの開幕2連戦が終わった深夜、1時間半にも及ぶ感動的な引退会見は、彼が唯一無二の存在であったことの証明となりました。

ところで、あの会見を見たファンは、彼が球界一（日本プロ野球でもMLBでも）のインタビュー嫌いだったことが信じられないかもしれません。オリックスのスター選手だった頃のイチローさんとは、かく記者泣かせ。ゲームや自身のプレー、トレーニングについて質問をしても「そんなことに答えなきゃ、ダメですか」「質問の意味が分かりません」と素っ気なく、しまいは口をつぐんで、刃りには痛いほどの沈黙が流れることがあったのです。

当時、イチローさんの密着取材をしていた私は、完全な「特別扱い」を受けていました。単独インタビューの時間をふんだんにもらって、彼の心の

内を聞いていたのですから。

どうして野球記者でもない私にたくさんのお話をしてくれたのか。深層までは計り知れませんが、「小松さんは知らないことを知らないと言ってくれるので、正直に答えられます」と話していたことを思い出します。

いつも闊達<sup>かつたう</sup>に話すイチローさんに、こう聞いたことがあります。「なぜ、スポーツ紙の記者さんたちには口が重いのですか」と。ストレートに聞いたので、少し驚いていたイチローさんは、考えた後で話し出しました。

「テレビのインタビュに答えても、短く編集されてしまうんですよ。スポーツ新聞のコメントも、意図的に一部だけが引用されてしまうんです。全ての言葉に意味があるのに、切り取られたら、真意は伝わりません。時には、逆の意味にだってなるんです。僕は、ファンの方々に、偽りのイチローを伝えたくありませんから」

つまり彼は、その誠実さゆえ、インタビュに

あまりに慎重にかたくなになっていたのです。

どうすればイチローさんの思いが伝わるでしょう、と私がつぶやくと、彼は笑って、こう答えました。

「今のままでは難しいです。でも、いつか、僕の言葉を編集せず、丸々放送し、書いてくれる機会があったら、そのときは、どんなことでも話しますよ。そんな理想の取材の機会が訪れてほしいですね。もちろん、誰かを批判したり、傷付けるようなことは言いませんが、できる限り、どんな質問にも答えます。小松さんは知っていますが、僕は本来、おしゃべりで、人と話すことも大好きです」

イチローさんは、野球選手として取材される最後の機会に、20代のころの理想を実現したのです。イチローさん、おめでとうございます。

イチローさんの思い出の数々は、そのままイチローファンのボールゲームへの憧憬<sup>しょうけい</sup>でした。記録には残らないけれど、朗らかな笑顔を、私は生涯この胸に刻みました。

横浜駅

相鉄沿線  
名店  
プロジェクト

沿線で見つけた  
こだわりの名店

## 日本酒 ト ワイン 岡野

新世代の日本酒も楽しめる  
おしゃやれでアットホームなバル

店内にはその季節ならではの生酒を中心に、新世代のつくり手による個性的な銘柄など、厳選したお酒がそろっています。カウンターに立つ日本酒アドバイザーの野村さんは、10年以上酒屋に勤めた生粋の日本酒好きで、お客さまの好みを聞きながらベストな一杯を選んでくれます。

常連さんの中には、最初から最後まで野村さんにお任せで注文する人もいますほどで、その信頼度は抜群です。料理もお酒に合うものばかり。和風や洋風どちらも

ありますが、「チーズの味噌漬け」や「燻製たまごといぶりがっこのポテトサラダ」など、和・洋を融合させた逸品は特におススメです。野村さんを筆頭にスタッフは全員フレンドリー。日本酒通の方も、これから日本酒を覚えてみたい初心者の方も、安心して足を運べるお店です。



横浜市西区岡野1-16-3 1F (相鉄線横浜駅徒歩7分) TEL.045 (321) 8399

Ⓜ [火～金・祝前日] 18:00～翌1:00 (L.O.24:00) [土・日・祝日] 17:00～24:00 (L.O.23:00)

Ⓜ 月曜 <http://www.zer0.co.jp/okano>



相鉄沿線名店プロジェクト…「地産地消」の取り組みなど、地域に根差した「こだわり」を持った地元の名店の紹介や相鉄グループが新たな名店を誘致することで、相鉄線沿線の魅力を高める取り組みです。 [https://hitosara.com/contents/sotetsu\\_meiten/](https://hitosara.com/contents/sotetsu_meiten/)



相鉄線が都心に直通運転を行う  
相鉄・JR直通線の開業日が決定  
11月30日(土)開業

相鉄線が新宿方面へ直通運転を行う「相鉄・JR直通線」の開業日が2019年11月30日(土)に決定しました。

相鉄とJR東日本では、相鉄線西谷駅から新駅となる羽沢横浜国大駅を経由して新宿方面へ直通運転を行う「相鉄・JR直通線」の開業準備を進めてきましたが、このたび、開業日が正式決定したものです。

なお、行き先や停車駅、運行ダイヤなどの詳細は今後決定します。また、相鉄・東急直通線は2022年度下期開業予定です。

※神奈川東部方面線事業

(相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線)

相鉄・JR直通線は、相鉄線西谷駅とJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近間に連絡線を新設し、相互直通運転を行うもので、相鉄・東急直通線(2022年度下期開業予定)は、同横浜羽沢駅付近と東急東横線・目黒線日吉駅間に連絡線を新設し、相鉄線と東急線が相互直通運転を行うものです。詳しくは神奈川東部方面線公式ウェブサイト(<http://www.chokutsusen.jp/>)をご覧ください。





## 新型車両12000系が営業運転を開始



右が新型車両12000系。左は先にデビューした相鉄・東急直通線用車両20000系

相鉄では、4月20日から新型車両「12000系」の営業運転を開始しました。

この車両は、11月30日（土）に開業する相鉄・JR直通線用として導入したもので、相鉄グループが進めている「デザインブランドアッププロジェクト」のコンセプトに基づいて設計・製造されています。特徴的なのが先頭車両の形状で、代表的な能面の一つ「獅子口」をイメージしたものとされています。

### ※デザインブランドアッププロジェクト

お客さまとの最大の接点となる駅舎や車両、制服、商業施設などを統一したデザインコンセプトに基づきリニューアルを進め、認知度や好感度を高めることで「選ばれる沿線」の実現を目指す取り組みです。  
公式ウェブサイト

<https://www.sotetsu.co.jp/design-pj/>

幼いころのそうにゃんをデザイン  
六代目そうにゃんトレインを運行中

相鉄では、六代目となるそうにゃんトレインを運行しています。

毎年デザインを変えているそうにゃんトレインは、今回で六代目となりました。発売中の絵本に描かれている幼いころのそうにゃんをモチーフにしています。また、「ゴールドそうにゃんつり革」や「そうにゃん柄の座席」を五代目そうにゃんトレインから引き継いで設置しています。

運行時刻などは、ウェブサイトをお覗きいただき、下記へお問い合わせください。

運行時刻はウェブサイト「相鉄グループ」でご案内しています。

<https://www.sotetsu.co.jp>

お問い合わせ

相鉄お客様センター

TEL.045(319)2111 [平日9:00～19:00、土休日9:00～17:00]

物語 2  
めぐる  
相直を

## 事業の調整・管理

相模鉄道(株) プロジェクト推進部 計画課  
安永宏樹 河村佳泰



このコーナーでは、神奈川東部方面線事業に関する  
さまざまな取り組みを紹介しています。今回は、  
事業の概要などについて、相模鉄道 プロジェクト推進部 計画課の  
安永宏樹さん(左)と河村佳泰さんにお話を伺いました。





相鉄・JR直通線用車両の12000系

うものです。もう一つは、同横浜羽沢駅付近と東急東横線・目黒線日吉駅間に約10キロメートルの連絡線を新設し、相鉄線と東急線が相互直通運転を

行うものです。

——お二人の仕事の内容を教えてください。

**安永** この事業は、国や県、市の支援を受けて行っています。主な仕事は、直通運転を行うJR東日本や東急電鉄など多くの関係者とさまざまな調整を行うことです。私たちとしては、何よりも相鉄線沿線にお住まいの方々のことを第一に考えて話し合いに臨んでいます。

**河村** 今年3月には、相鉄・JR直通線の開業日が11月30日に正式決定しました。今後は行き先や停車駅、運行ダイヤなど

の詳細についても、決定次第、公表していきます。

——今後の意気込みを教えてください。

**安永** 相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線については、多くの方々の期待をひしひしと感じています。責任は重大ですが、この事業に携われることを誇りに感じています。

**河村** 相鉄・JR直通線の開業日が正式に決まり、さらに気を引き締めています。開業を無事に迎えることはもちろん、開業後に相鉄線沿線がより活性化するように進めていきたいと考えています。

相鉄線沿線  
少年少女  
熱血スポーツ

沿線でスポーツに取り組む  
少年少女を紹介します



## 海老名 ラグビースクール



お話を伺ったのは



校長 武田小三郎さん

### DATA

海老名ラグビースクール  
<http://ebinars.d2.r-cms.jp>

### 創

立は1985年で、現在は5歳から中学3年生まで約100人が所属しています。日本代表になったOBを輩出し、県内の20チームで競う県大会で良い結果を残すこともありま。こうした実績も大事ですが、基礎体力を養い、人間性を育むことを第一に考えて指導しています。今年はワールドカップが、来年はオリンピックが開催されますし、ラグビーのさらなる普及に貢献できればと思っています。



竹田翔斗さん  
たかへと

与えられたポジションで何をするのがベストなのか、きちんと考えてプレーをしなければならないことにラグビーの難しさを感じています。自分がトライを決めることも大事ですが、チームの得点につながるプレーをするように心掛けています。



深瀬隆矢さん  
たかや

ラグビーは手足を使い、体を張り、サインを覚える必要があります。練習は大変ですが、少しずつでも上達できることに面白さを感じています。去年はキャプテンとしてチームをまとめることに苦労したけれど、良い経験になりました。



織田祥信さん  
よしのぶ

経験者の父の勧めで、5歳のときにこのスクールに入りました。僕は同学年では背が高い方ですが、他のチームには体格のいい選手がたくさんいます。自分より大きな選手にタックルを決めることができると、ラグビーって楽しいなと感じます。



水野翔瑛さん  
しゅうえい

去年の県大会では、チーム内でうまくコミュニケーションが取れなくて結果を残せませんでした。今は練習でも積極的に声を掛け合うようにして、チームの調子も良くなっています。このままラグビーを続けて、将来は日本代表になりたいです。

トラットリア レガ - ミ  
**Trattoria Legami**

TEL.046(408)1870

## 厳選素材を使った中部イタリア料理

ランチは、日替わりのパスタやリゾットにサラダやドルチェ(デザート)がセットになった3種類(1,296円〜)。ディナーでは、函館直送の鮮魚を使った「海のパスタ レガ-ミ風」(写真手前、2〜4人前3,024円)、「イタリア産生ハムとサラミの盛り合わせ」(同奥、2〜4人前1,728円)の他、自家製ハムなども楽しめます。イタリアワインは常時50種類以上をストック。



「自分が好きなトスカーナなど中部イタリアの料理をご提供しています」と語る、オーナーシェフの剣持(けんもち)恵一さん



沿線オススメ店めぐり  
ぶらり寄り道!

今号の🍴テーマ

## 心華やぐ イタリアン

＼ オススメ! /

こちらの料理は素材の持ち味を生かしたシンプルな味付けが特徴。コースはありませんが、予約時に予算や好みを伝えると対応してくれます。



●海老名市国分南1-6-27  
☎11:30〜14:00(L.O.)、17:00〜22:00(L.O.) (休)月曜

### 特典

本誌をご提示の上ご飲食の方には、料金を10%引き(2019年6月末まで・本誌1冊につき1名さまのみ有効)。





「お一人でのお食事からパーティーまで、さまざまな用途でご利用いただけるお店です」と店長の村国舞さん

＼ オススメ! /

パスタやピザは定番だけでなく、岩のりやわさびなど和の食材を使ったオリジナルメニューも充実。ピザはテークアウトもできます。



● 藤沢市湘南台2-5-10  
ウエストプラザ5番地1F  
◎ 11:30~15:00(L.O.)、17:00~21:00(L.O.) ⑧無休



特典

本誌をご提示の上ディナータイムにご飲食の方には、ソフトドリンクを1杯サービス(2019年6月末まで・本誌1冊につき1名さまのみ有効)。

インプルーヴ

## improve湘南台

TEL.0466(61)7979

### 多彩な料理がリーズナブルに楽しめるお店

ランチは「しらすときゃべつのペペロンチーノ」(写真手前)や「マルゲリータ」などのパスタやピザを中心に30種類(各1,000円、サラダ・ドリンク付き)。ディナーではパスタやピザに加え、一品料理や「色どり野菜のサラダ」(同奥、850円)などの他、旬の食材を使った期間限定メニューも登場。飲み放題付きのコース(2時間3,780円～、要予約)も人気です。

## ＼ オススメ! ／

魚介料理は、素材の鮮度はもちろん、塩加減や火加減も絶妙。既製品ではなく、1週間かけてつくるといふ自家製トマトソースの味も格別です。



●横浜市保土ケ谷区天王町1-12-12,1F ㊟11:30～14:30 (L.O. / 土・日曜・祝日 12:00～15:00)、18:00～22:30 (L.O.) ㊟月曜(祝日の場合は営業、翌火曜休)



### 特典

本誌をご提示の上ディナータイムに予約してご飲食の方には、グラスワインを1杯サービス(2019年6月末まで・本誌1冊につき1名さまのみ有効)。



「自ら釣り上げた魚介の鮮度には絶対的な自信があります」と語る、オーナーシェフの加藤正時(まさとき)さん



## タヴェルナ クアットロ Taverna Quattro

TEL.045(337)3322

### シェフのお手製パスタと鮮度抜群の魚介料理

こちらのパスタは毎日手打ちしたもので、平日限定のランチは日替わりで2種類が登場(各1,300円、サラダ・スープ付き)。ディナーでは「自家製三元豚のパンチェッタと茄子の完熟フレッシュトマトソース手打ちタリアテッレ」(写真奥、2,000円)などのパスタの他、「シェフ一本釣りカサゴのヴァポレ」(同手前、2,800円)などの魚介料理も充実しています。

●取材時のこぼれ話をウェブサイト「相鉄グループ」内の「相鉄瓦版」に掲載中!

ぶらり寄り道!

相鉄線沿線  
お出掛けスポット  
めぐり



## 横浜水道記念館

横浜に日本初の近代水道ができたのは1887年。そこから現在に至る130年超の歴史や水道の仕組みを映像、パネル、模型などで紹介しているのが「横浜水道記念館」です。同館は横浜市のほぼ中心の高台に建っており、晴れた日は眺望も抜群。また、7月下旬から8月下旬にかけては、庭の噴水池がお子さま向けの「水の遊び場」としてオープンします。



●横浜市保土ケ谷区川島町522 TEL.045(371)1621  
④9:00～17:00(最終入館16:30) ⑤休4～8月は第1月曜(祝日の場合は翌日休館)、9～3月は毎週月曜(祝日の場合は翌日休館)、祝日の翌日(土・日曜除く)、年末年始



「SOTETSUあしたをつくるPROJECT」

SOTETSU  
ALLSTARS  
PROJECT

相鉄は都心直通。

2019.11.30  
START!

横浜の真ん中と、東京の真ん中をつなぐ。  
相鉄は都心直通。

2019年11月30日、相鉄線はいよいよJR線との相互直通運転を開始します。恵比寿、渋谷、新宿へ。乗り換えなしで都心とつながることで相鉄線の利便性は飛躍的に向上します。それはまた相鉄線沿線の自然が東京からいっそう身近になることでもあります。都市と自然をつなぐ「住みやすい沿線」として、皆さまから選ばれる鉄道を目指して相鉄はこれからも走り続けます。

vol.2

## ゲンジボタル



ゲンジボタルが飛翔する様子

※一番よく観察できる時間は、19:30から20:30ごろです。

※園内には照明灯が設置されていますが、ホタルの生息域は真っ暗になります。懐中電灯を持参する場合は、ホタルの生息域手前で必ず明かりを消して鑑賞してください。強い光により、ホタルが光ったり飛んだりすることをやめしてしまう場合があります。

毎年6月上旬から中旬にかけて、こども自然公園の水田奥の湿地にゲンジボタルが発生します。このゲンジボタルは、横浜市の文化財（天然記念物）に指定されています。

ホタルが生息できる環境は、適度な流れのある水場と、幼虫のエサとなる巻き貝のカワナナが生息すること。さらに、土壌や日光、空気などの自然条件が必要です。

以前はホタルが生息できる環境が横浜市内にも多数ありましたが、今では自然発生する地域はごく少数となってしまいました。この貴重なホタルを守るために、ルールを守って観察してください。

### こども自然公園

（横浜市環境創造局  
北部公園緑地事務所）

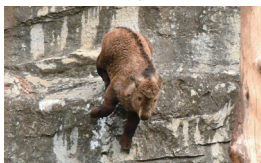
横浜市旭区大池町65-1 TEL.045 (353) 1166  
二俣川駅から徒歩15分、南万騎が原駅から徒歩7分

## ズーラシアの動物たち 〈ゴールデンターキン〉

中国の国家一級重点保護野生動物に指定されているゴールデンターキン。成長したオスが金白色の毛並みを持つことから「ゴールデン」の名が付けました。ズーラシアでは、2月22日にオスの赤ちゃんが生まれました。母親のメイ(3歳)は初産ながらとても落ち着いていて、しっかり子育てをしています。赤ちゃんはすくすくと成長し、3月21日に一般公開が始まりました。まだ小さいながら、崖を昇り降りするなど活発な姿を見せています。名前は来園者の投票により、誕生当日に「はやぶさ2」が小惑星リュウグウへの着陸に成功したのでハヤブサ属の学名 *Falco* から「ファルコ」となりました。ぜひファルコが成長する様子を見に来てください。



母親のメイとファルコ



崖を駆け降りるファルコ

## イベント情報

## ズーラシア1日飼育体験

飼育作業体験を通して飼育の工夫を知り、動物や動物園について学びます。

日時 7月24日(水)～27日(土) 9:30～15:00

対象 小学4～6年生

定員 各日30人【7月27日(土)は親子10組20人】

料金 100円【7月27日(土)は600円】 ※入園料は別途必要

申し込み 往復はがきにて7月6日(土)まで(必着)

※詳細はズーラシアのウェブサイトをご覧ください。



よこはま動物園

ズーラシア

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000

開園時間 / 9:30～16:30 (入園は16:00まで)

休園日 / 火曜(祝日の場合は開園、翌日休園)

▶ 鶴ヶ峰駅または三ツ境駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。  
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



## 家族で地元を満喫!

6/22

**① 二俣川駅・サンハート  
姉妹による珠玉のアンサンブル**

第7回サンハート・アンサンブルオーディション最優秀受賞記念コンサート「Violin Duo」を開催。中村ゆかり、中村里奈姉妹が珠玉の名曲をお届けします。13:30開場、14:00開演。前売りチケットは一般2,000円、高校生以下1,000円(当日券は各200円増)、ペア券3,500円(前売りのみ)。未就学時の入場不可。

④ 横浜市旭区民文化センター サンハート  
TEL.045 (364) 3810 [9:00 ~ 21:00、不定休]  
<http://www.sunheart.info/>



6

水水水水

**大和駅・東側プロムナード  
5・12・19・26 大和市産の採れたて新鮮食材**

毎週水曜に開催している「おさんぽマーケット」。大和市文化創造拠点「シリウス」の前で、地元産の野菜や果物、手づくり豆腐などを販売しています。時間は12:00～。また、引地台公園の噴水北側広場でも農産物を直売する「大和市民朝霧市」を毎週日曜に開催。時間は7:00～。いずれも商品がなくなり次第、終了となります。

④ 大和市民朝霧市推進委員会 事務局 (大和市農政課内)  
TEL.046 (260) 5132 [平日8:30 ~ 17:00]



6

①

**和田町駅・和田町商店街  
8 15年以上続く地元密着イベント**

47回目となる「べっぴんマーケット」を開催。和田町駅から延びるメインストリートを舞台にフリーマーケットを実施する他、各商店が食べ物や雑貨、お買い得品などを販売するブースを出店。バンド演奏などのライブイベントや、和田町限定お弁当の販売も行います。時間は10:00 ~ 15:00。

④ 和田町商店街協同組合 (村上書店)  
TEL.045 (331) 5501 [平日9:30 ~ 19:30]





地元野菜の楽しみ方を幅広く提案している「ヨコハマやさいレシピ」。このコーナーでは、第3回「ヨコハマやさいレシピコンテスト」の受賞レシピをご紹介します。

詳細は  
ウェブサイトを  
ご覧ください。



## 〈第3回優秀賞〉 アジアン風かぶカブ餃子 <sup>ギョーザ</sup>

使用した相鉄いずみ野線沿線の野菜

カブ

### 〔材料〕

カブ(葉付き)……………5玉  
 豚ひき肉……………200g  
 ニンニクおろし  
 ……………お好みの量  
 ショウガおろし  
 ……………お好みの量  
 塩・こしょう  
 片栗粉  
 餃子の皮……………20枚  
 スイートチリソース  
 ……………適量

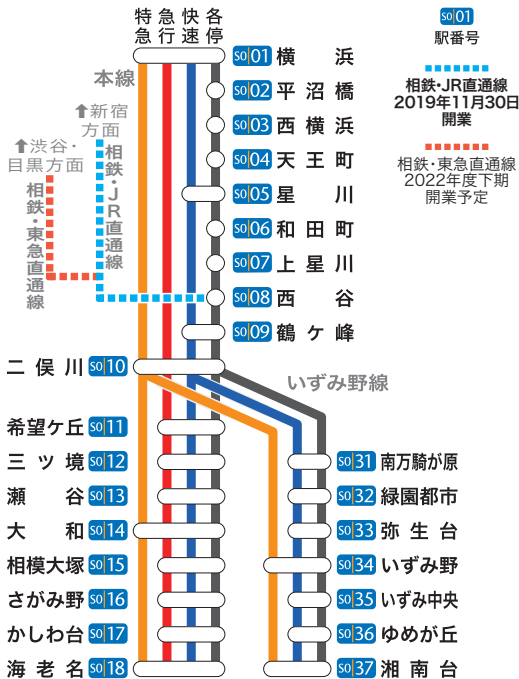
### 〔作り方〕

- ① カブは皮をむいたら、断面が丸くなるようにして、それぞれを半分にカットする。大きい方のカブの切り口から、20枚くらい薄くスライスし、残りは角切りにしておく。刻んだ葉、角切りのカブにそれぞれ塩を振って軽くもみ、しばらくおいて水分を切っておく。
- ② 豚ひき肉をボールに入れ、①の角切りのカブとAの調味料を加えてよく混ぜる。
- ③ 餃子の皮を広げ、①のカブのスライスを重ね、②のタネをのせたら、優しく包む。
- ④ フライパンにごま油を熱し、餃子を焼き上げて完成。スイートチリソースを付けて召し上がれ！

### ポイント

カブの存在感が出るよう切り方を工夫したり、餃子の皮の内側に薄切りのカブを使っています。

# 相鉄線路線図



次号 (7月1日発行予定) は  
「相鉄線沿線の果物」について特集します

相鉄瓦版は、ウェブサイト「相鉄グループ」  
でもご覧いただけます。

<https://www.sotetsu.co.jp>

2019年6月1日

発行：相鉄ホールディングス(株)  
横浜市西区北幸二丁目9番14号

相鉄お客様センター TEL.045 (319) 2111  
[平日9:00～19:00 土日9:00～17:00]